イチゴジャムおいしかったね!

5歳児が4歳児の時に植えたイチゴが真っ 赤に実りました。子どもたちは収穫を心待ち にしていたので、収穫は大きな喜びとなりま した。



たいなぁ・・・

イチゴ できたかな…

真っ赤なイチゴが できてる!

イチゴの収穫を楽しみにしてい たのは5歳児だけではなく、3歳児 4歳児も楽しみにしていました。



んできたよ!

こんなにたくさ

「このイチゴどうする?」

みんなのために Let's クッキング!

美味しいジャムを 作ろう!



自分たちが植えて育て収穫したイチゴ。ま ずはそのまま食べました。「とってもおいし い!全部わたしたちで食べちゃおうよ!(迫 真の演技)」と担任が言うと「小さい組さん にもあげなきゃ」という子どもたちの優しい 気持ちに胸が温かくなりました。たくさん採 れたイチゴ。「どうやって食べる?」と作戦 会議(そら・つき・にじ組会議)を何回もし ました。話し合いの結果"イチゴジャム"をみ んなで作ることになりました。



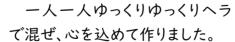
いよいよイチゴジャムづくり!

ジュースみたい になってきた



冷凍していたイチゴを事前に解凍 しました。ファスナー付き保存袋に入 れ、みんなでもみました

次は私ね!





甘いにおいがする





| 回目はクラッカーにのせて、 2回目はパンに挟んで食べました。

「おまたせ!美味しいイチゴジャムだよ!」

ジャムができたよ!

ありがとう!





できあがったジャムを3・4歳児に届けに行きました。みんな喜んでくれて、喜んでく れたことがうれしくて、5歳児のみんなも笑顔になりました。





美味しかったよ ありがとう!

完食した後、すぐにお礼の気 持ちを伝えに来てくれました。

「喜んでくれて良かったね」

甘~いにおい! おいしそう!



5歳児がイチゴジャムを食べたのは、全クラスに配った 後。「まだ食べられないの?」という5歳児は一人もいま せんでした。年下の友達のことを思いやる5歳児の気持 ちに感動しました。



植え付けから管理、収穫、調理、食べる。これらを経験した5歳児。この経験で植物の生長 に関する興味(科学する心)が高まりました。何より"育てて食べる"喜びを感じました。3・4歳児 は甘いイチゴジャムの味を通して"そら組・つき組・にじ組さん大好き!"と親しみの気持ちをもち ました。4歳児にとっては"あんな大きい組になりたいな"と少しずつ少しずつその想いが積み重 なる経験となっていると思います。イチゴ栽培を通して、半年以上にわたる活動と子どもたちの 想いが重なり、素敵な瞬間と笑顔が生まれました。